令和4年度 (子ども教育支援課)不祥事ゼロプログラムの検証等

〇 課題·目標別実施結果

課題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令では ・ できるのででは ・ できるのでである。 ・ できるのでは、 ・ できるでは、 ・ で	職員の意識を高め、公務内外の不祥事防止を徹底する。 職員の意識啓発等を行い、パワハラ、セクハラ、マタハラ等の発生を未然に防止する。	 ○ 令和4年10月に、職員を対象とした職場研修を実施した。 ○ 不祥事(わいせつ事案等)が発生した際には、公務内外において、高い倫理観を持って行動するよう職員に周知した。 ○ 令和4年10月に、職員を対象とした職場研修を実施した。 ○ LGBTなどの性的マイノリティにかかる理解を深めた。 ○ 日常的な言動に、パワハラ、セクハラ、マタハラ等にあたる内容がないか、職員相互で点検を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	職員の意識啓発を 図り、個人情報保 護を徹底し、重要 情報の紛失、漏え い等を未然に防止 する。	 ○ 令和4年10月に、職員を対象とした職場研修を実施した。 ○ 長時間離席時のパソコンの扱いや、重要情報が記載された書類の扱い、印刷文書の扱いなど、職員のセキュリティ意識を高めた。 ○ メールを外部へ一斉送信する際は、BCC欄の入力確認を複数人で行い、誤送信の防止に努めた。
交通事故防止、 酒酔い・酒気帯 び運転防止、交 通法規の遵守	職員の意識啓発等 を行い、交通事故 や飲酒運転を防止 する。	○ 令和4年10月に、職員を対象とした職場研修を実施し、交通安全に対する職員の意識の向上を図った。
業務執行体制の 確保等(情報共 有、相互チェッ ク体制、業務協 力体制)	職員間の相互チェック体制や業務協力体制を確立し、 適切に業務を執行する。	○ 令和4年10月に、職員を対象とした職場研修を実施した。○ グループリーダーは、日々、グループ員の業務の進捗状況を確認し、必要に応じて指導を行った。
財務事務等の適 正執行	財務規則等を遵守 し、チェック体制を 確立し、適切な事務 手続きを徹底する。	○ 事業担当と経理担当の連携を徹底し、事業の進 行に遅れが生じないよう努めた。
風通しが良く、 発言しやすい職 場づくり	風通しが良く、発 言しやすい職場づ くりに取り組むこ とで、適切な業務 執行体制の確立に 繋げる。	○ グループ間やグループ内の意思疎通を円滑に行 うために、朝ミーティングの機会等を利用して事 業の進捗状況の共有に努めた。○ グループリーダーは、グループ員が一人で仕事を 抱え込み悩まないよう、グループ員に対し声掛け を行った。

- 〇 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (所属長意見)
 - ・令和4年度不祥事ゼロブログラムについて、すべての項目につき目標を達成することができた。
 - ・令和5年度においても、職場研修等を通じて、引き続き職員の法令順守意識の向上を図る。